

公民館報

新習志野

公民館報 / 新習志野
 編集 / 館報編集委員会
 発行 / 新習志野公民館
 指定管理者 株式会社オーエンス
 習志野市秋津 3-6-3 TEL453-3400
<http://sinnara-kominkan.net/>



新習文化祭

10月21日(金) ~ 23日(日)

詳細は折り込みチラシをご覧ください

♪ 楽しく歌う ♪



公民館開設の平成4年、育成サークルとして(2年後自由サークルとなる)発足した「赤とんぼ」は以来25年、須合孝子・今井純子両先生のご指導のもと元気に歌い続けています。現在は90才の先輩を先頭に43名の会員が毎月3回、多目的室で声を合わせています。懐かしい素朴な唱歌、童謡、わらべ歌を中心に多くの人々と楽しく歌うことは健康を増進させ、仲間との交流も深まります。また、これらの歌を次世代に伝えていくという目標にも向かっています。

公民館の行事に参加したり、地域の幼稚園や小学校、福祉施設との触れ合いを大切に年に数回訪問したりしています。私達の歌に目を輝かせて聞き入り、一緒に口ずさんでくださる超高齢者の方々や子どもたちの顔を見ると、童謡や唱歌が聞く人に与える温もり、優しさ、親しさが周りの人々

をも和やかにするものと実感でき嬉しくなります。「赤とんぼ」の最大のイベントは発足以来25回参加している文化祭での発表です。4月新年度が始まると発表曲の選曲にかかり、6月には練習曲集を作って練習を重ねて、7月にはテープに録って配布し、8月夏休みの間は自主練習となります。「赤とんぼ」は暗譜での歌唱が原則なので、例年11曲ほど暗記する宿題は大変です。しかし今年は節目の25回目の参加、会員一同頑張っています。

これからもお二人の先生方にご指導をいただきながら和やかな「赤とんぼ」として楽しく歌っていきたく願っています。

童謡サークル 赤とんぼ 市川桂子

1市民 1文化 1スポーツ 1ボランティア

生涯学習のまち、習志野に住む私たち。公民館で長く学習している方々に思いを書いていただきました。

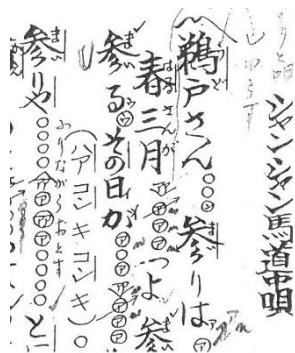
平成4年に発足した秋津民謡会に、私は16年に入り早12年目。でもまだまだ“ひよこ”です。秋津民謡会に入っていた高齢者の方の送迎を頼まれ、「2時間待っているならやってみたら」と誘われたのがきっかけです。

良いところ＝人と人との出会い、そして絆です。仲良しですよ。年齢を問わず、大きな口を開けふるさとの民謡を唄い、声を出す。出来、不出来はその日によって決まります。

(うそかなあ……?)
体のバロメーターです。

(ふ・ふ・ふ)
一歩一歩進んで、上手になれたらいいなあ。がんばります。

◇中神則子



仕事の関係で海外に出張した際、何気なく飾られているスタンドグラスランプや、窓硝子を見て、自分でも作ることができないだろうかと思っていた際、新習志野公民館での体験教室の開催の記事を見て申し込んだのが平成11年の5月頃であった。僅か5日間程度の活動ではあったが、夢中でハンダコテを使っていたことを覚えている。そこから、サークルを立ち上げ、今へと続いている。文化祭への出展や、硝子関連施設の見学会等を行い、会員の皆がクリエイティブな活動に生きがいを持ってもらえることを糧に公民館活動を続けている。

日頃は、混雑する通勤電車の中で、つり革につかまりながら、次の作品の構想を練っていることが多くある。

◇渡邊智也

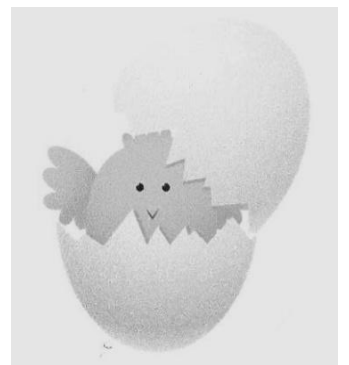


平成15年の新習志野公民館主催（料理未経験者対象）の『男の料理教室 たまご塾』終了後、平成16年に有志11人で『男厨塾 たまご会』のサークルを立ち上げました。“男子厨房に入らず”世代の私は、娘が勝手に講座の申し込みをして参加することになり、かれこれ13年も続いています。一番の自信作は筑前煮で家族にも大好評です。

また仲間たちとバス旅行、ウォーキング、飲み会と料理以外にもコミュニケーションを図っています。

文化祭では、恒例の“ホタテ弁当”を販売し、大変喜ばれています。

◇吉田貞夫



新習志野公民館に習志野デッサン会ができ、今年3月には20周年展を催しました。多彩なメンバーによる個性に富んだ作品展になりました。

会に講師はいません。ひたすら描いて描いて自ら何かを掴み取るしかありません。一面で裸婦デッサンは絵画の基礎修練とききます。私の場合デッサンのためのデッサンというよりも、私のお絵かきのどこかに生かされるかなと思い、始めたのですが……。皆さんのパステルや油彩等々を横目に見ながら、めげず未だに線と格闘しています。

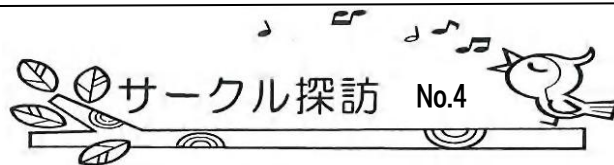
「継続は力なり」と言いますが、それなりに工夫努力あってこそ実力が伴うものだ実感する昨今です。

文化祭にはメンバーの様々な画材でのデッサンが出品されます。

◇伊佐夏代



シリーズ サークル連協 ②自立した運営



かしょうかい

迦葉会 (書道一般)

『迦葉会』は古典の名筆(漢字・かな)をお手本に書いているサークルです。

筆のはしる音だけが聞こえる静寂な会議室へ取材に行き、緊張の中お話を伺いました。

先生は「休まず継続していくと上手になり、楽しくなります」。会員の皆さんは「漢字の歴史や知識も勉強しています」「和気あいあいと楽しく活動しています」「おしゃべりをしながら書いています」とのこと。皆さんの笑顔にふれ、和やかなひとときを過ごすことができました。

一方、一日体験した小高相談員は「呼吸をすることも忘れるくらい集中し、毛筆の奥深さを実感しました」と精力を使い果たした様子でした。

◆活動日 第1・2・4金曜日10時～正午

◆会員募集中(若干名) (K)



先生、これでよろしいでしょうか

☆夏の宵コンサート☆ 2016年7月30日(土)

『無意識のうちにも愛情を感じてもらいたくて』とピンクの譜面台を持って登場された、心理カウンセラーでもある山田賢明さんのコンサート。

ギターを弾きながら、懐かしい歌を歌い始めると、自然に口ずさむ人や、手拍子をする人も。

「元気いっぱい歌声で楽しく聞きました」「感動しました」「すてきな笑顔に励まされました」などの感想と、また来て欲しいとの声も多く聞かれた、ひと夏の宵でした。(K)

発足して5年目頃から「連協はもっと自立すべきだ」と言われるようになった。この年、新会長を迎えた役員会は「自立」という言葉を意識するようになった。連協主導の新体制をつくるべく、これまで事務局に任せていたことも自分たちでやるようになり、より理解が深まり改善点も見えてきた。

◆自立のために連協が取り組んだこと

1. 会議のレジュメを自分たちで作成

議題を並べただけのレジュメをやめ、みんなが理解し、考えやすいように詳細な内容を記載した冊子型レジュメを作成。

2. 予算の立案とそれに伴う財源の確保

予算案も事務局任せにせず、財源も事業の中で確実に確保できるよう様々な工夫をした。

3. 文化祭運営の確立

みんなで少しずつの力を出し合って大きな力に変えていく……これが実現できたことが連協主導による完全自立型の「新習文化祭」が成り立っている理由である。

自立した運営を支えているのはサークルの皆さんの理解と協力であり、また公民館が役員会の運営方針を尊重した上で、事務局としてできることを常に模索してくれているお陰である。

◆新習文化祭2016

今年も「新習文化祭」開催の時期が近づいてきました。新サークルの参加により、毎日朝から益々目が離せなくなります。お見逃しのないよう、詳細はチラシでご確認ください。展示作品も高い評価をいただいております、毎年楽しみにしているとの声も聞かれます。

目でも耳でも舌でも心でも楽しい「新習文化祭」に皆様お誘い合わせの上ご来館ください。心よりお待ち申し上げます。

サークル連絡協議会会長 伊藤美智子

お知らせコーナー

～From 公民館～

☆詳細はHP、チラシまたは広報習志野等でお知らせします。

◇生活悠々講座

*ステンシルでオリジナルTシャツを作る
日時／9月29日(木) 10月6日(木)
10:00(全2回)

*健康寿命をのばすために
(生活・運動・食事について※実技を含む)
日時／11月4日(金) 11日(金) 18日(金)
10:00(全3回)

◇子ども講座

*日本文化を体験(祭り寿司作り・茶道体験)
日時／11月12日(土) 19日(土)
10:00(全2回)

◇ふれ愛コンサート

出演／習志野シニアアンサンブル
日時／10月2日(日) 13:30 開演
場所／多目的室

◇いも煮とレク

日時／11月5日(土) 9:00
場所／香澄公園(雨天時:新習志野公民館)
対象／秋津小学校・香澄小学校の児童

◇千葉工大とサイエンス

*ロボットやロケットで有名な千葉工大が出張して、イベントを開催!
日にち／11月23日(水)

◇海辺のコンサート

日時／11月26日(土) 12:00開演
場所／第七中学校体育館

◇子どもシネマ

日時／12月27日(火) 10:00
場所／多目的室

編集委員が行く

フロンティアサッカー
フィールド



公民館に隣接する秋津総合運動公園にある「フロンティアサッカーフィールド」(秋津サッカー場)。サッカー日本代表が合宿を行うことで注目を浴びていますが、小中学生からプロ選手、障がい者と幅広い利用者層を持ちながら、質の良い芝を保持している日本でも稀有なグラウンドなのです。

9月25日(日)にはオービックシーガルズの公式戦が行われるとのこと。誇れる地元の競技場とアメリカンフットボールチームに熱い声援を届けてみませんか。(S)



新習川柳

- ・暑くても 夏やしえない
- このからだ
- ・水不足 大手を振って
- 生ビール
- ・セミの声 孫の声に
- かき消され
- ・水くらげ プカリぶかりと
- 夏模様

募集
あなたの川柳を館報に載せてみませんか!

編集後記

この夏も全国で様々な祭りが催され、賑わいを見せました。私たちの街にも地域の人々に愛される祭りがあります。『人と人とのふれ合い』『伝承』『ふるさとの記憶』そんな祭りのある街を大切に思っています。さて、今回初めて公民館報の編集に参加させていただき、改めて地域の風景や人々の様子に目を向けることができました。今後も新たな発見を楽しみにしていきたいと思ひます。(T)